

# BCRET東京拠点、本格稼働開始 今年9月から新規モダリティ関連の教育プログラムを実施予定

2023/05/25

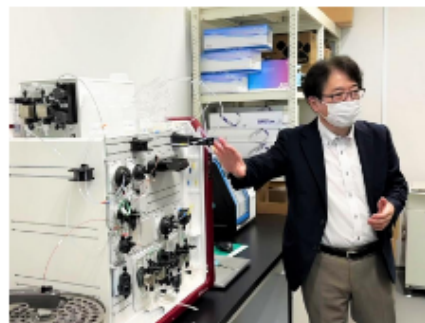


一般社団法人バイオリジクス研究・トレーニングセンター（BCRET）は2023年5月18日、東京都江東区の「三井リンクラボ新木場1」内に新たに開設した東京拠点において今年4月から本格的に業務を開始したとして、報道機関向けの内覧会を開催した。

BCRETは、バイオ医薬品の開発・製造等に関わる人材の育成を目的として2017年に設立され、本部を置く神戸拠点において2018年から講習を開催してきた。受講者は製薬企業・ベンダー等が中心で、これまでに座学講習を1,159人、実習講習を296人（いずれも延べ人数）が受講した。新たに開設した東京拠点では、主に次世代抗体やmRNAワクチン、細胞治療といったいわゆる新規モダリティを対象とした教育プログラムを今年9月頃からは行う予定で、3日間の実習（講義を含む）を、年間10回程度開催していくという。神戸拠点においても引き続き従来のバイオ医薬品に関する教育プログラムが実施されるため、BCRET全体としては年間20数回程度の実習を開催できる体制を整えたことになる。

内覧会で説明を行った専務理事代行・企画担当理事の内田和久氏は、今後実施する教育プログラムの1つについて、「経済産業省のワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業によって、今後、国内においてバイオ医薬品関係の工場がいくつも立ち上がるため、そこで働く人材を急速に育てていかなければならない。それを見据えて、経済産業省や厚生労働省と連携したプログラムの作成を進めている」と紹介した。

また内田氏は、「日本ではバイオ関係のビジネスがなかなか立ち上がらず、ベンチャーの数も少ない。CMC関係の知識不足が原因となっている場合もある」との認識を示した上で、「そうした部分をサポートしていくことが次の課題。人材育成を通じて国内のバイオリジクスエコシステムの構築に貢献していきたい」と、今後に対する意気込みを話した。



専務理事代行・企画担当理事の内田和久氏